



株式会社 プラージュ 延岡支店

創業：延岡支店 2022年(本社 2001年) 従業員数：6人
延岡市幸町3-101 延岡駅西口街区ビル2F
TEL 0982-20-0444 / FAX 0982-20-0445
https://www.prage.jp

Web版はこちら



こんな仕事をしています。

「子どもたちに世界一カッコいいと言われる会社を創る」を経営理念とし、AR・アプリ開発・Webサイト制作・システム開発など、皆さんに喜びと感動を与えるサービスの提供を行っています。

プラージュはたらく人にインタビュー

スマートフォンやタブレットのアプリ、Webサイトを作っています。どうすればお客様のやりたいことができるようになるのかを考えて、プログラミングをします。考えた通りのアプリやWebサイトができたときはすごく達成感があります。

システム開発担当
上村さん



AR用の3Dモデルを作る仕事をしています。イラストが立体になったときの形や動きを想像しながら作るのは大変ですが、ARを見たお客様の驚く声を聞くと「頑張ってたかった」と、とてもやりがいを感じます。

3Dデザイン担当
長野さん



「AR」って何？ ことができるの？

ARとは、日本語で「拡張現実」といって、現実世界のなかに仮想の物体(3Dモデルや動画など)を映し出す技術のことです。絵本にスマホやタブレットのカメラをかざすと、3Dのキャラクターが動きだしたりします。例えば、スマートフォンの専用アプリでマーカーとなる「くまモン」を読み取ると、3Dのくまモンが表示され踊りだします。ほかにも、広告、観光、医療、製造現場など様々な業界で利用されています。皆さんの身近なところにもAR技術が使われているかもしれません。ぜひ探してみてください！

マーカー
「くまモン」



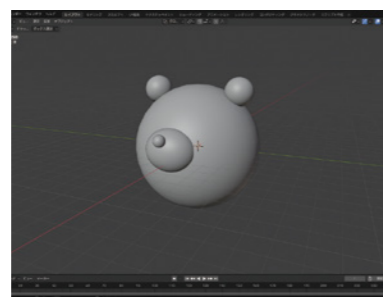
スマートフォンの専用アプリで読み取るとくまモンが動きだします

「AR」はどうやって作られているの？



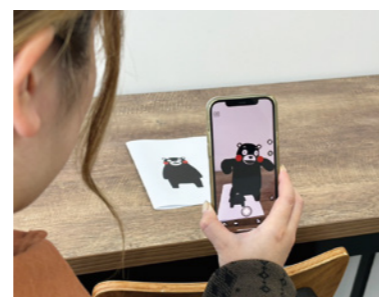
①提案

どのような商品にしたいかお客様の要望を聞いて、完成イメージを提案します。



②制作

3Dモデルでキャラクターを制作します。



③「AR」の設定・検証

「ARcube」管理画面で、マーカーと3Dモデルを設定します。

ダウンロードはこちら



iOS



Android



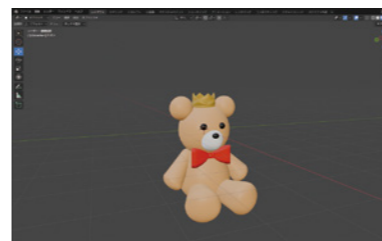
「ARcube」をダウンロードすると実際にくまモンの「AR」が楽しめるよ！

延岡支社ではこんな仕事をしています

3Dモデル制作



3Dモデルの制作依頼があった画像やイラストなどを、専用のソフトを使って3Dに作り替えていきます。次に、できあがった3Dモデルに動きを付けるためのソフトを使ってアニメーションをつけて完成です。



東京本社受注のWebサイト運用



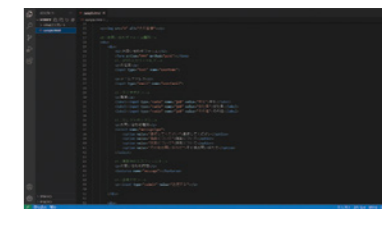
東京都庁から依頼されたWebサイトの運用をしています。東京都庁の担当者と直接やり取りをしながら、正しい情報を早く皆さんに届けるために、スピード感をもって正確にWebサイトの更新作業を実施します。



システム開発



システムを作るためにはまず、お客様のやりたいことを聞きだし、聞きだした内容を実現するにはどうすればいいかを考えます(設計図を作るイメージ)。その後、設計図をもとにプログラミングしてシステムを作っていきます。



「AR」を作ってみよう！ 小・中学校で体験授業もしています

プラージュが開発した「ARcube」というARアプリを小・中学生に体験してもらいました。マーカーと言われる画像を読み込むと、身近な人に感謝を伝える動画が表示されるように設定しました。

